

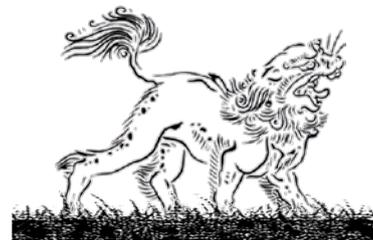


FSSI  
Research Report

Kanazawa University

2022. 8

# Topic



## 研究業績の調べ方 (Scopus, SciVal) ～Top10%論文,被引用数, IF～

Scopus (スコーパス) と Scival (サイバル) を使用した研究業績 (論文、被引用件数、Top10%論文等) の調べ方についてご紹介いたします。Scopus はエルゼビア社が提供する世界最大級の抄録・引用文献データベースです。本学の構成員であれば無料でアクセス可能です。

### 情報サイトについて

金沢大学では、研究者情報の閲覧・分析、機関間の研究力の比較を行うためのツールとして、Scopus (スコーパス) および SciVal (サイバル)、Web of Science へのアクセス権を提供しています。各サイトの違いは下記になります。

#### 研究情報サイト一覧

- [Scopus](#) : 研究者情報の閲覧・分析
- [SciVal](#) : 機関やグループ間の研究力の比較
- [Web of Science](#) : 研究者情報の閲覧・分析

Web of Science については、[「FSSI レポート 2021.6 月号」](#)をご参照ください。両者は情報の提供元企業が異なります。

### I. アカウント登録 (Scopus)

本学の教職員・学生であれば、無料で登録ができます。学外からのアクセスも可能です。登録は金沢大学の E-mail (kanazawa-u.ac.jp) での登録が必要です。Scopus でアカウント登録すれば、Scival も使用できるようになります。また、登録無しでも「所属機関経由でサインイン」が可能です。

登録サイト : <https://id.elsevier.com/>



### II. 研究者情報の検索

Scopus にアクセスし、

- 1: 「Scopus」クリック
- 2: 「著者検索」クリック
- 3: 名前で検索



収録されている論文、*h*-index、出版した論文の被引用回数などが閲覧できます。



**金大LINK** の表示があるものは、論文のダウンロードが直接可能です。

# Topic



## III. 研究の影響力の調べ方

エルゼビア社 (Scopus, SciVal を提供) では、研究の影響力を測るための、論文の被引用度合を基にした独自の指標である「FWCI (Field Weighted Citation Impact)」を提供しています。

「FWCI」は個々の論文の被引用度合を、同じ出版年、同じ分野、同じ文献タイプで比較した数値になります。数値が1の場合は、その論文は世界平均と同じ被引用度合であることを示しています。1 以上では、世界平均よりも高いことを示しています。FWCI を用いると異なる分野間の論文のインパクトを比較することが可能です。

FWCI は、論文ごとに算出されている他、研究者単位でも算出されています。

### ■ 論文の FWCI

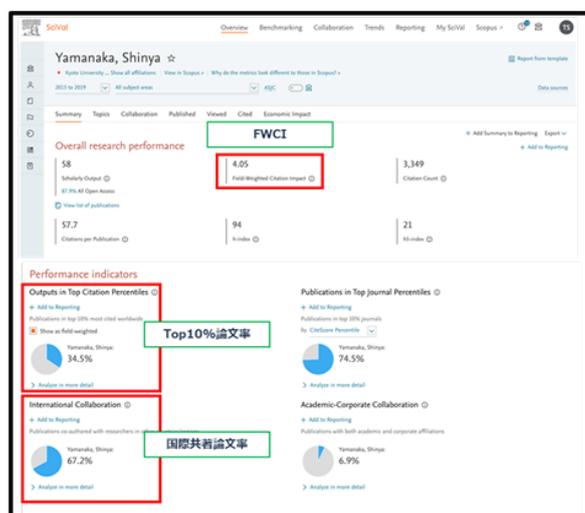
調べ方: 「Scopus」ログイン>「著者」>著者名で検索>対象論文をクリック>「評価指標」

(検索例) 山中伸弥先生が Cell に発表した iPS 細胞に関する論文の FWCI



### ■ 研究者の FWCI

調べ方: 「Scopus」ログイン>「著者」>著者名で検索>「SciVal にエクスポート」



## IV. Top10%論文の調べ方

各研究者の Top10%論文リストの他、機関ごとの Top10%論文数の検索も可能です。論文の被引用件数の分野補正の有無によって2種類の数値が提供されています。文部科学省では分野補正のある値を基準として Top10%論文数を算出しています。

### ■ 研究者の Top10%論文

調べ方: 「Scopus」ログイン>「著者」>著者名で検索>「SciVal にエクスポート」>「Publications in Top Journal Percentiles」の「Analyze in more detail」>「Outputs in Top Citation Percentiles」の「View list of publications」で Top10%論文一覧が表示される。

Rank	Title	Author	Year	Source	Citation Count
1	A score-efficient method for genome organization from low-resolution Hi-C data	Ohno, K., Matsuura, Y., Sato, T., and 23 more	2011	Nature Genetics	1,211
2	Identification of novel genes and lncRNAs in the human genome	Wang, H., Wang, X., Wang, J., and 10 more	2017	Nature Reviews Genetics	418
3	Genetic architecture of human height	Wang, H., Wang, X., Wang, J., and 10 more	2017	Nature Reviews Genetics	318
4	Genetic architecture of human height	Wang, H., Wang, X., Wang, J., and 10 more	2017	Nature Reviews Genetics	318
5	Genetic architecture of human height	Wang, H., Wang, X., Wang, J., and 10 more	2017	Nature Reviews Genetics	318

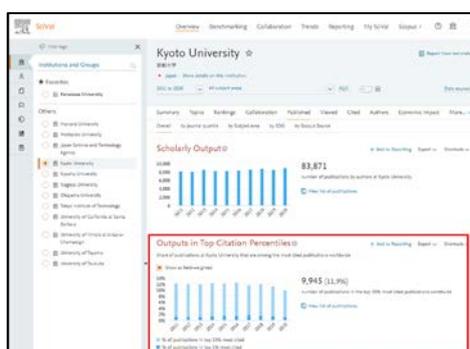
# Topic



## ■ 研究機関の Top10%論文

調べ方: 「SciVal」にログイン>左の「Institutions and Groups」より大学名を検索>「Outputs in Top Citation Percentiles」の「View list of publications」で Top10%論文一覧が表示される。

SciVal: <https://www.scival.com/home>



Author(s)	Year	Title	Author(s)	Year	Source	Citations
Wang, J.C.	2012	Observation of a new particle in the search for the Standard Model Higgs boson with the ATLAS detector at the LHC	Aad, G., Abajayathilaka, T., Abbott, B., et al.	2012	Physics Letters Section B: Nuclear, Elementary Particle and High Energy Physics	8,882
Yoshida, M.	2018	Review of Particle Physics	Tanaka, M., Hagiwara, K., et al.	2018	Physical Review D	1,808
Yoshida, M.	2018	Review of particle physics	Hagiwara, K., Tanaka, M., et al.	2018	Chinese Physics C	4,883
Yoshida, M.	2018	Global, regional, and national infectious diseases and injuries and risk factors for the leading causes of death and disability-adjusted life expectancy at birth, 1990-2019: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2019	Yoshida, M., Kobayashi, K., Yamada, M., et al.	2020	Chemical Reviews	3,837

同様に、「International Collaboration (国際共著率)」や、各指標の年変化等も調べることが可能です。

## V. インパクトファクター (IF) の調べ方

参考として、Web of Science (クラリベイト社) によるインパクトファクターの調べ方も記載します。

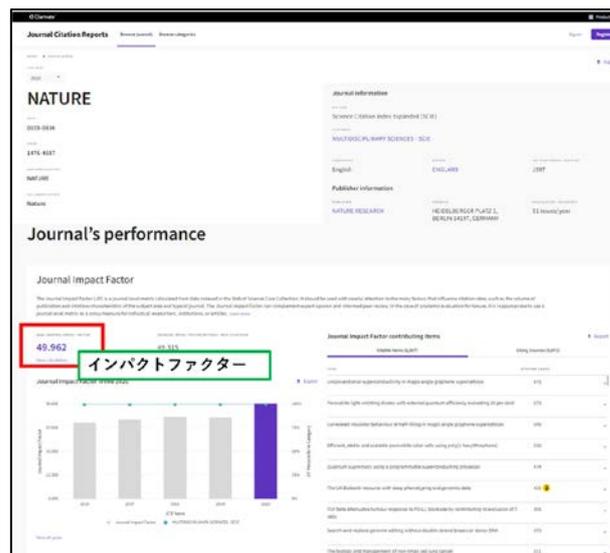
### ■ インパクトファクター (IF) とは

評価する年 (2020 年) の前 2 年間 (2019、2018 年) において、その雑誌に収録されている総論文数および、

それらの評価年での総被引用件数を用いて、評価年において 1 論文あたり平均何回引用されているかを示す尺度である。数値が「5.8」の場合は、その雑誌に前 2 年間に収録された論文が 1 年間に平均 5.8 回引用されていることを示す。「雑誌のインパクト」を表す代表的な指標の一つである。IF は恒久的に付与されるものではなく、毎年 6 月頃に前年の IF 値が公開される。個々の論文を評価する指標ではなく、雑誌を評価する指標であることに注意が必要です。

調べ方: Web of Science から、または直接「Journal Citation Reports」にアクセス>雑誌名等で検索

Web of Science: <https://jcr.clarivate.com/jcr/home>



### 【お問い合わせ】

金沢大学先端科学・社会共創推進機構 (FSSI)

✉: [kanazawa-fssi-ir@kanazawa-fssi.com](mailto:kanazawa-fssi-ir@kanazawa-fssi.com)

アーカイブ: <https://kanazawa-fssi.com/fssi-report/>

段々と秋の気配が近づいてきています。

夏野菜の収穫はそろそろ終わりです。

次は、秋茄子でしょうか。

(2022 年 8 月 26 日撮影・角間の里にて)

